

様式16 情勢報告（各月の動き毎月25日までに報告）
情勢報告（平成25年9月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

J Aくろしおニラ部会決算総会



J A土佐くろしおニラ部会決算総会が8月23日に開催され、32名の生産者が参加しました。

振興センターからは、ハウス栽培での有望品種として「ハイパーグリーンベルト」の特性について説明しました。慣行品種の「スーパーグリーンベルト」は分けつ数が多くなりすぎる傾向があるため、改善が期待できる品種として生産者は興味を示していました。今作、2ほ場に定植して、生育状況や収量性について調査する予定です。

これからの現地検討会で、生産者と一緒に生育状況を見て品種の特性を把握していきます。

野生鳥獣に強い集落づくり事業の第2回集落全体会



8月28日に、野生鳥獣に強い集落づくり事業の第2回集落全体会が須崎市浦ノ内地区の立目公民館で行われ、住民9名と鳥獣対策課・振興センターなど各関係機関が参加しました。

住民との意見交換では、これまでの現地調査やDVD等を用いた学習会を踏まえたうえで、地区全体を柵で囲むことは、地形的・労力的に無理との結論となりました。

今後の対応としては、代替えとして、捕獲用の檻や、くくりワナまた、侵入防止の電気柵の設置を試すことになりました。

J Aくろしおイチゴ研究会決算総会



J A土佐くろしおイチゴ研究会決算総会が9月5日に開催され、14名の生産者が参加しました。

振興センターからは定植に向けて、うどんこ病とハダニ類の苗からの持込を防止するため防除の徹底と、花芽分化の確認について説明しました。生産者は、定植前の病虫害防除等の栽培管理について再確認ができました。

また、県域でのイチゴ生産者交流会の開催情報を提供し、生産者の参加を促しました。

J A土佐くろしお4Hクラブ 新規就農者激励会



新規就農者と若手農業者の交流を図る新規就農者激励会が8月21日に開催され、新規就農者と4Hクラブあわせて22人が参加しました。

パークゴルフでの交流後に行われた講習会では、振興センターが環境制御技術に関する講習として、オランダ農業の事例紹介と、こうち新施設園芸システム確立に向けた取り組みを紹介しました。

本年は新規就農者の参加が多く、地区や栽培品目を超えた若手農家同士の交流や、関係機関との意見交換も多く行われるなど、活発な激励会となりました。

第2回集落営農リーダー研修会



集落営農組織のリーダーや関係機関を対象に、組織活動の充実とステップアップを図るため、9月2日に津野町で研修会を開催しました。

参加者は、集落営農関連事業とその活用事例や、農業用機械更新費用の積立と事業の費用対効果について県事業担当者から説明を受け、事業を活用した組織活動について学びました。

次回は、先進地視察による研修会を開催します。

J A土佐くろしおピーマン部会 定植前勉強会



促成ピーマンの定植が始まる直前の8月22日に、定植前後の管理を中心とした勉強会を開催し、5戸の農家が参加しました。

8月の総会で実施した管理状況の聞き取り結果から、多くの農家で加温の開始が遅れていることが分かったため、振興センターからは、加温の準備を定植直後からしておくように呼びかけました。

また、昨年のL品率のデータを示し、採り遅れないように労力配分や管理をしていくように指導しました。

J A土佐くろしおシシトウ部会 栽培勉強会



8月27日にシシトウの栽培勉強会を開催したところ、次作への準備等で忙しい中、9名の農家が参加しました。

勉強会では、25園芸年度の振り返りや、モデル農家の取り組みの紹介、I P M実証等の試験結果について説明を行いました。また、「光合成」を高めるために、ハウス内の温湿度管理や土づくりなどの基本技術がいかに大切かという事を説明しました。

今後の現地検討会等でも説明を重ね、生産者の理解を深めることで、収量向上を図っていきます。